

Microsoft® Windows Server™ 2003 R2/ Microsoft® Windows® Server 2003

RUR2 (Service Pack 2) インストール手順書

はじめに

本手順書は、Windows Server 2003 R2 対応(Service Pack 2) 差分モジュール(RUR W2K3-002b-N) を正しく適用するための手順書です。

ヒント Windows Server 2003 R2 x64 Editions や Windows Server 2003 x64 Editions をご使用の場合は、「Windows Server 2003 R2 x64 Editions/ Windows Server 2003 x64 Editions R2 (Service Pack2) インストール手順書」を参照してください。

本手順書を**必ず一度お読みのうえ**、Windows Server 2003 R2 または、Windows Server 2003 (以降、「Windows Server 2003」と呼ぶ)のインストールおよび「システムのアップデート」を実施した後で、適用してください。

Windows Server 2003 のインストールや「システムのアップデート」は、それぞれの装置に添付のユーザーズガイドを参照し実施してください。

ヒント 「ユーザーズガイド」は、「EXPRESSBUILDER」CD-ROM に収められている場合もあります。Express5800 シリーズをお買い上げ時に「ユーザーズガイド」が添付されていない場合は、「EXPRESSBUILDER」CD-ROM の中のマスターコントロールメニューから「オンラインドキュメント」を参照してください。

● インストールに必要なもの

Windows Server 2003 R2 (Service Pack 2) をインストールする前に、以下の媒体と手順書がそろっていることを確認してください。

- **Microsoft® Windows Server™ 2003 Service Pack 2**
(以降、「Windows Server 2003 Service Pack 2」と呼ぶ)

Windows Server 2003 Service Pack 2 は、次のいずれかをご用意ください。

- **web サイトなどから Windows Server 2003 Service Pack 2 をダウンロードする**
(以降、「ダウンロード版 Service Pack 2」と呼ぶ)
- **Windows Server 2003 Service Pack 2 CD-ROM を用意する**
(以降、「CD-ROM 版 Service Pack 2」と呼ぶ)

- **Windows Server 2003 R2 対応 (Service Pack 2) 差分モジュール**
(以降、「Windows Server 2003 R2」と呼ぶ)

Windows Server 2003 R2 は、次のいずれかをご用意ください。

- **『NEC 8番街』 (<http://nec8.com>) から Express5800 用 Windows Server 2003 Service Pack 2 差分モジュール (RUR W2K3-002b-N) をダウンロードする**
(以降、「ダウンロード版 R2」と呼ぶ)
- **NEC Express5800 シリーズ Windows® Server 2003 R2 CD-ROM (243-110442-588-A)を用意する**
(以降、「CD-ROM 版 R2」と呼ぶ)

- **Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 / Microsoft® Windows® Server 2003 R2 (Service Pack 2) インストール手順書 (本書) (856-121112-209-C)**

注意事項

ここでは、**Windows Server 2003 RUR2** を正しくインストールするために、インストールを開始する前に知っておかなければならない注意事項について説明します。

インストールを開始する前に必ずお読みください。

● ソフトウェアプロダクトについて

ソフトウェアプロダクトによっては、Windows Server 2003 Service Pack 2 環境上での動作が保証されていない場合があります。

Windows Server 2003 Service Pack 2 の適用の際には、ご利用中のソフトウェアプロダクトのご購入元に必ずご確認ください。また、適用くださるようお願いいたします。

次のURLのサービスパック関連のページを参照してください。

『NEC 8番街』 <http://nec8.com> -

[サポート情報] - [→PCサーバ] - [ダウンロードサービス]

詳細情報、最新情報、およびその他プロダクトに関する情報については、お買い上げのNEC販売店、もしくは最寄りのNECまでお問い合わせください。

● Windows Server 2003 Service Pack 2 の適用 について

- Express5800シリーズに Windows Server 2003 Service Pack 2 を適用する場合は、必ず本書にしたがって、**Windows Server 2003 RUR2** を使用し適用してください。
また**必ずアプリケーションを終了してから**Windows Server 2003 RUR2 を適用してください。

チェック

Windows Server 2003 RUR2 をサポート対象外の装置に適用すると、以下のメッセージが表示され適用できません。



- 既にWindows Server 2003 Service Pack 2 が適用されている場合は、Windows Server 2003 Service Pack 2 を再適用する必要はありません。

Windows Server 2003 RUR2 のみ適用してください。手順は本書の「1.Windows Server 2003 RUR2 の適用」手順(5) <Windows Server 2003 RUR2のみを適用する場合>を参照してください。

- Windows Server 2003 RUR2 は、**アンインストールできません**。
- **Windows Server 2003 RUR2** 適用前に、システム情報を**バックアップ**することをお勧めします。

システム情報のバックアップ手順

“オフライン保守ユーティリティ” サポートの場合

システムのセットアップが終了した後、オフライン保守ユーティリティを使って、システム情報をバックアップすることをお勧めします。

システム情報のバックアップがないと、修理後にお客様の装置固有の情報や設定を復旧(リストア)できなくなります。次の手順に従ってバックアップをとってください。

- ① 3.5インチフロッピーディスクを用意する。
- ② 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを本体装置の光ディスクドライブにセットし、再起動する。
EXPRESSBUILDERから起動して「EXPRESSBUILDERトップメニュー」が表示されます。
- ③ [ツール]－[オフライン保守ユーティリティ]を選択する。
- ④ [システム情報の管理]から[退避]を選択する。

以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。

“オフライン保守ユーティリティ” 未サポートの場合

システムのセットアップが終了した後、EXPRESSBUILDERを使って、システム情報をバックアップすることをお勧めします。

システム情報のバックアップがないと、修理後にお客様の装置固有の情報や設定を復旧(リストア)できなくなります。次の手順に従ってバックアップをとってください。

- ① 3.5インチフロッピーディスクを用意する。
- ② 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを本体装置の光ディスクドライブにセットし、再起動する。
EXPRESSBUILDERから起動して「EXPRESSBUILDERトップメニュー」が表示されます。
- ③ [ツール]－[システム情報の管理]を選択する。
- ④ [システム情報の管理]から[退避]を選択する。

以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。

● **ドライバの署名について**

Windows Server 2003 RUR2 を適用する場合、必ず適用前に以下の手順でドライバ署名オプションの状態を確認してください。(確認の際には管理者権限のあるユーザ(administrator等)でログインしてください。)

- ① [スタートメニュー]から[コントロールパネル]を選択します。
- ② [コントロールパネル]内にある[システム]を起動しハードウェアタブを選択します。
- ③ ドライバの[ドライバの署名(S)]をクリックします。

ファイルの署名の確認が

「無視-ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(I)」もしくは

「警告-毎回、操作の選択を求める(W)」

になっていることを確認してください。

「ブロック-署名されていないドライバソフトウェアをインストールしない(B)」設定になっている場合には上記2つのどちらかに変更した後、**Windows Server 2003 RUR2** を適用してください。

(設定を変更する際、システムの再起動は不要です。)

ドライバ署名オプションの設定を変更した場合には、**Windows Server 2003 RUR2** を適用後、変更前の設定に戻してください。

● Intel® LANドライバを使用しているシステムにWindows Server® 2003 RUR2 (ServicePack2)を適用する場合について

Intel®製のLANアダプタをご使用になっている場合は、LANドライババージョンにより、ドライバのアップデートを実施する必要があります。下記の「1.ドライババージョン確認手順」にしたがってバージョンの確認を行い、該当する場合は、Service Pack 2を適用する前にLANドライバをアップデートしてください。

1. ドライババージョン確認手順

- ① [ローカルエリア接続]のプロパティダイアログを開きます。
スタートメニューから[コントロールパネル]をクリックして[コントロールパネル]を表示させます。[ネットワーク接続]をクリックして[ローカルエリア接続]をクリックします。

ヒント クラシックメニューの場合

スタートメニューから[設定]→[ネットワーク接続]を選択し[ネットワーク接続]ウィンドウの[ローカルエリア接続]アイコンを右クリックして[プロパティ]を選択します。

- ② ネットワークアダプタのプロパティを開いてドライババージョンを確認します。
[構成]をクリックして、ネットワークアダプタのプロパティを開きます。
[ドライバ]タブの[ドライバの詳細]を押してバージョンを確認します。
(拡張子が sys のファイルを確認してください)

下記いずれかのドライババージョンの場合はLANドライバをアップデートする必要があります。下記「2. LANドライバダウンロード」のURLからアップデートモジュールをダウンロードし、適用してください。

(表1)

カテゴリ	OS/Driver ファイル名	ドライババージョン
100 BASEドライバ	WindowsServer®2003/ e100b325.sys	8.0.19.0 ~ 8.0.21.0
1000 BASEドライバ (PCI)	WindowsServer®2003/ e1000325.sys	8.5.14.0 ~ 8.6.11.0
1000 BASEドライバ (PCI-Express)	WindowsServer®2003/ e1e5132.sys	9.0.15.0 ~ 9.2.24.0

2. LANドライバダウンロード

ダウンロード(Express5800)先 URL :

http://www.express.nec.co.jp/care/download/dload_main.html

タイトル : Windows Server 2003 SP2対応 Intel LANドライバリリースの件

ドライバインストール手順は、上記に登録されているインストール手順書を参照してください。

● Windows Server 2003 RUR2適用時の電源に関する設定について

Windows Server 2003 RUR2適用時に以下の設定が有効となっている場合は、処理が中断する場合や正しく適用できない場合があります。各設定を無効(チェックボックスをオフ)などしてからWindows Server 2003 RUR2 を適用してください。Windows Server 2003 RUR2 適用後に必要に応じて再設定を行ってください。

- ・ 電源設定 (モニタの電源を切る・ハードディスクの電源を切る)
- ・ 休止状態 (休止状態を有効にする)

● シームレスセットアップについて

シームレスセットアップを利用したWindows Server 2003 RUR2の適用は、**サポート対象外**です。**Windows Server 2003 RUR2** を適用する場合は、シームレスセットアップが終了した後に適用してください。

● システムの構成変更について

システムの構成変更(内蔵オプションの取り付け/取り外し)を行った場合は、本書の[1. **Windows Server 2003 RUR2の適用**](P.9)を参照し**Windows Server 2003 RUR2** を再適用してください。このときサービスパックを再適用する必要はありません。

● ESMPRO/ServerAgentを使用している場合について

- 本モジュールを適用すると、一部の機種においてWDTおよびShutdown監視の設定値がデフォルトの設定値となります。なお、機種によっては本機能がサポートされていない場合があります。
- 本モジュールを適用する前にWDTおよびShutdown監視の現在の設定内容を確認のうえ、適用後に必要に応じて再設定を行ってください。
- 下記を起動することによりWDTおよびShutdown監視の設定内容の確認および設定ができます。

コントロールパネル内にあるESMPRO ServerAgent

- 上記操作の詳細、WDTおよびShutdown監視の詳細に関してはESMPRO/ServerAgent のマニュアル類を参照して下さい。

● DeploymentManager、PatchMeisterを使用したWindows Server 2003 Service Pack 2、Windows Server 2003 RUR2 の適用について

以下の製品を使ってWindows Server 2003 RUR2の適用が可能です。

- WebSAM DeploymentManager (以降DPM)
- SystemGlobe DeploymentManager (以降DPM)
- ESMPRO/DeploymentManager (以降DPM)
- PatchMeister Ver1.0, Ver1.1, Ver1.5(REVISION:002), Ver2.0 (以降PTM)

DPM、PTMを使用する場合は、本書後述のインストール手順にしたがって**Windows Server 2003 RUR2**を適用してください。

(「3. DPM、PTMを使用したWindows Server 2003 Service Pack 2、Windows Server 2003 RUR2の適用」P.17 参照)

注意

CapsSuite Small Edition PatchMeister Ver1.5(REVISION:001)では、サポートしておりません。

「REVISION」は、製品 CD-ROM のラベルに記載されています。

● SCSI HostRAID/SATA HostRAID/N8103-86(0ch)を利用しているシステムにWindows Server 2003 RUR2を適用する場合について

SCSI HostRAID/SATA HostRAID/N8103-86(0ch)を利用しているシステムに対し、Windows Server 2003 Service Pack 2 を適用すると、SCSI HostRAID/SATA HostRAID/N8103-86(0ch)の管理ユーティリティである「Adaptec Storage Manager -Browser Edition」(以降、**ASMBE**と略す)のサービスが起動できない現象が発生する場合があります。

本現象はASMBEのバージョンが古い場合に発生しますので、『NEC 8番街』<http://nec8.com> - [サポート情報] - [→PCサーバ] - [ダウンロードサービス]より、対象システムを選択し、下記タイトルのアップデートをダウンロードし適用してください。以下のURLからでも参照できます。

ダウンロード(Express5800)先 URL :

http://www.express.nec.co.jp/care/download/dload_main.html

公開番号 : 2217000021

タイトル : HostRAID(SATA/SCSI)/N8103-86 ディスクアレイコントローラ(0ch)
管理ユーティリティの最新版リリース

なお、Web上に上記タイトルより最新のASMBEが登録されている場合は、最新のASMBEを適用してください。

● SCSI HostRAID を使用している場合について

<SCSI HostRAID 起動可能なアレイシステムの設定>

SCSI HostRAID ご使用の場合はSCSI HostRAIDのBIOSにて、システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。

重要

本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。

- ① システムを起動、または再起動したときに以下のメッセージが表示されたら、<Ctrl>キーと<A>キーを同時に押す。

Press <CTRL>< A> for SCSISelect (TM) Utility!

- ② 次に表示されるデバイスメニューで、チャンネルを選択し<Enter>キーを押す。

ヒント

- 必ずアレイが作成されているチャンネルを指定してください。
- 使用されている機種によっては、チャンネルが1つしかないものもあります。

- ③ 「Configure/View HostRAID Settings」メニューを選択する。

ヒント

<Optionsメニューに「Configure/View HostRAID Settings」メニューがない場合>HostRAID の機能が有効になっていません。
そのため、「起動可能なアレイシステムの設定」を行う必要はありません。

- ④ メインメニューでアレイを選択し、<Enter>キーを押し、次に**Bootable**を押す。

ヒント

[Bootable]のメニューがない本体装置は設定する必要がありませんので、次へ進んでください。

- ⑤ システムを起動するアレイにカーソルを合わせ、Mark Bootableを選択して<Enter>キーを押す。

ヒント

Mark Bootable の設定はキーボードのキーを押下することにより設定と解除ができます。

重要

作成したアレイからシステムを起動する場合は、必ず本設定を実施してく

ださい。Mark Bootable を選択することにより、SCSI ID の優先順位に関係なく、アレイに起動優先権が与えられます。起動可能なことを示す「B」が、ドライブ ID の横に表示されます。

● SATA HostRAIDを使用している場合について

SATA HostRAIDを利用しているシステムに対し、Windows Server 2003 RUR2を適用すると、適用後のシステム再起動時に、新しいハードウェアの検索ウィザードが起動される場合があります。

検索ウィザードが起動された場合、「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックしてください。自動でドライバがインストールされます。

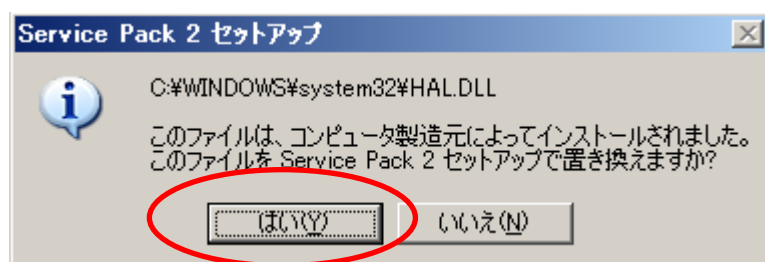
インストール中にセキュリティの警告ウィンドウが表示された場合は、[はい]をクリックしてインストールを続けてください。

なお、ドライバのインストールには、管理者権限が必要です。インストールする際には管理者権限のあるユーザ(administrator等)にて実施してください。

● Express5800/180Rc-4、180Rd-4 を使用している場合について

Windows Server 2003をご使用の場合、Windows Server 2003 RUR2を適用すると、以下のポップアップが表示されることがあります。

表示された場合は、[はい]をクリックし、進んでください。



1 Windows Server 2003 R2 の適用

ここでは、Windows Server 2003 R2 の適用方法について説明します。

重要 Windows Server 2003 R2 を適用する前に、「Microsoft Windows Server 2003 Service Pack 2 の Web サイト」を参照し、お使いのシステムのディスク容量を確認してください。

- (1) 周辺装置、Express5800 シリーズの順に電源を ON にし、Windows Server 2003 を起動する。
- (2) 次のいずれかの方法で、Windows Server 2003 Service Pack2 を用意する。

● **ダウンロード版 Service Pack 2 の場合**

ご使用のシステムの任意のディレクトリに ダウンロード版 Service Pack2 をコピーしてください。

- 重要**
- ダウンロードしたファイル (*.exe) は解凍する必要はありません。
 - 任意のディレクトリ名に空白を含む文字を指定しないでください。

● **CD-ROM 版 Service Pack 2 の場合**

Microsoft 社製 Windows Server 2003 Service Pack 2 CD-ROM を用意してください。

- (3) 次のいずれかの方法で、Windows Server 2003 R2 を用意する。

● **ダウンロード版 R2 の場合**

- ① 『NEC 8番街』(<http://nec8.com>) から Windows Server 2003 R2 をダウンロードする。
- ② スタートメニューから[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
- ③ 名前の欄にダウンロードしたファイル名をフルパス (例えば、C:¥TEMP¥***.EXE など) で入力し、[OK]をクリックする。
- ④ モジュールの展開先フォルダ名を入力し、[解凍(X)]をクリックする。

● **CD-ROM 版 R2 の場合**

NEC Express5800 シリーズ Windows® Server 2003 R2 CD-ROM を用意してください。

- (4) 次のいずれかの方法で、Windows Server 2003 R2 を実行する。

● **ダウンロード版 R2 の場合**

エクスプローラ、コマンドプロンプト等から、(3) でダウンロードし解凍したモジュールの展開先フォルダにある¥RUR¥update.vbs を実行する。

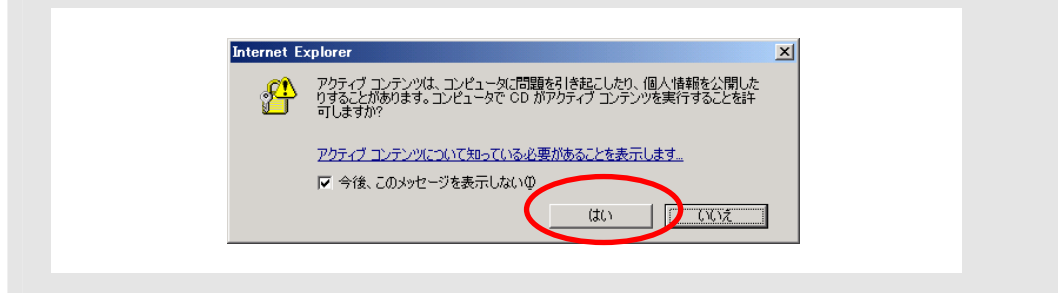
● **CD-ROM 版 R2 の場合**

自動的にメニューが表示されるので、メニュー画面 から「はじめに」→『■Windows Server 2003 をご使用の場合』をクリックする。

ヒント メニュー画面が自動的に起動しない場合は、以下のファイルを実行してください。
<CD-ROM のドライブター>:¥readme.html

Windows Server 2003 の説明画面が表示されるので、説明画面の内容を確認し、[→ 差分モジュールを適用する]をクリックする。

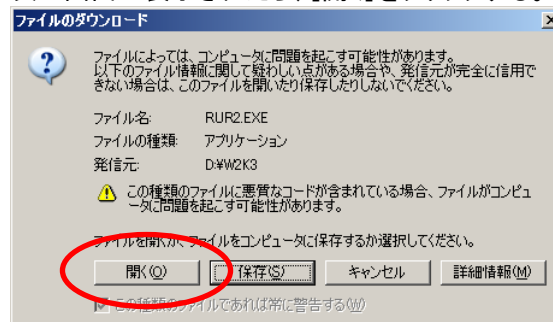
チェック 次のメッセージが表示される場合がありますが、[はい]をクリックし作業をすすめてください。



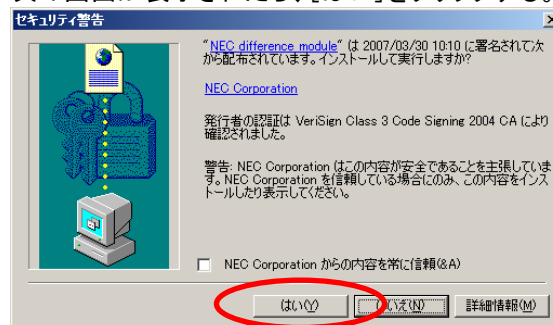
ヒント 次のメッセージが表示される場合がありますが、以下の手順ですすめてください。

【Service Pack なしの場合】

1. 次の画面が表示されたら、[開く]をクリックする。

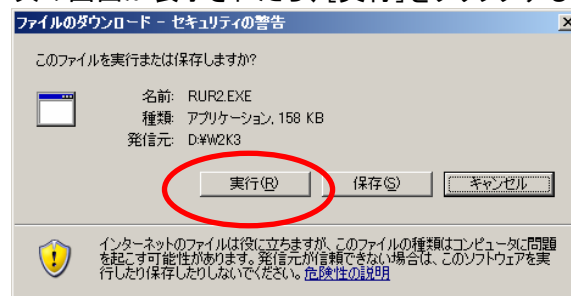


2. 次の画面が表示されたら、[はい]をクリックする。

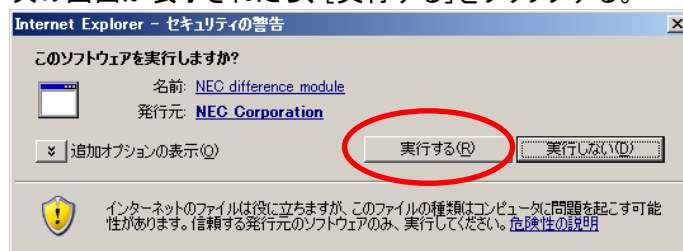


【Service Pack 1 または Service Pack 2 の場合】

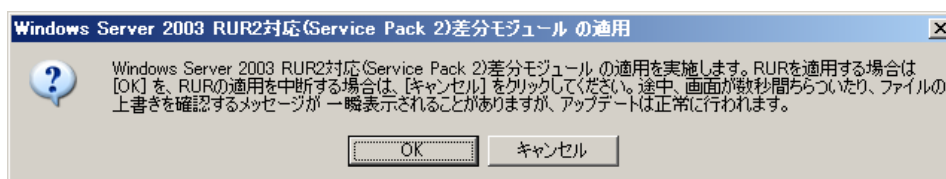
1. 次の画面が表示されたら、[実行]をクリックする。



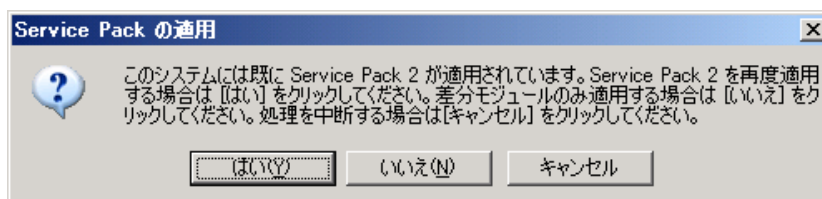
2. 次の画面が表示されたら、[実行する]をクリックする。



- (5) 次のメッセージが表示されたら、内容を確認し [OK]をクリックする。
アップデートを中断するには、[キャンセル]をクリックしてください。



【Windows Server 2003 Service Pack 2 が適用されている場合】
次のメッセージが表示されます。



<再度 Windows Server 2003 Service Pack 2 を適用する場合>
[はい]をクリックし、(6)へ進んでください。

<Windows Server 2003 RUR 2 のみを適用する場合>
[いいえ]をクリックし、(10)へ進んでください。

<処理を中断する場合>
[キャンセル]をクリックしてください。

- (6) 次のメッセージが表示されます。
光ディスクドライブに、RUR CD-ROM をセットしている場合は、取り出してください。



<ダウンロード版 Service Pack2 を使用する場合>

[いいえ(N)]をクリックし、(7)へ進んでください。

<CD-ROM 版 Service Pack2 を使用する場合>

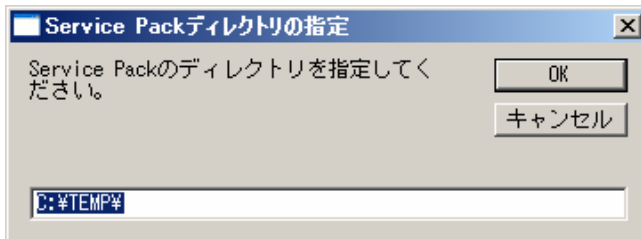
画面指示にしたがって<Shift>キーを押しながら CD-ROM 版 Service Pack 2 を光ディスクドライブにセットし、[はい(Y)]をクリックし、(8)へ進んでください。

<処理を中断する場合>

[キャンセル]をクリックしてください。

- (7) Windows Server 2003 Service Pack 2 をコピーしたディレクトリ名を要求されます。
Windows Server 2003 Service Pack 2 をコピーしたディレクトリパスを入力し、[OK]をクリックしてください。

[キャンセル]をクリックすると、(6)に戻ります。

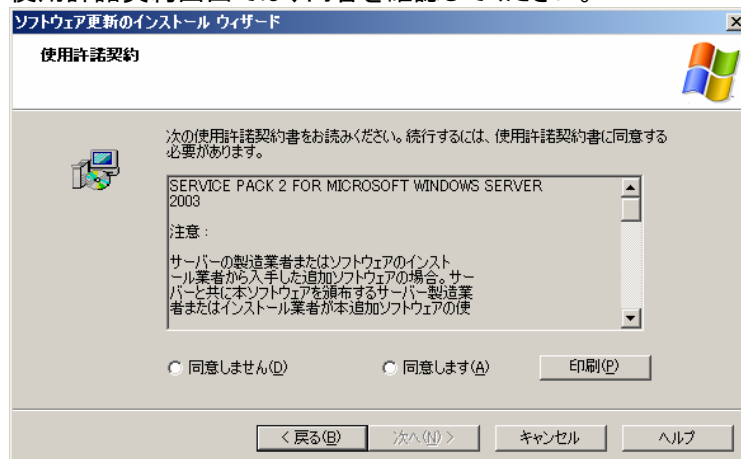


- (8) Windows Server 2003 Service Pack 2 のインストールが始まります。

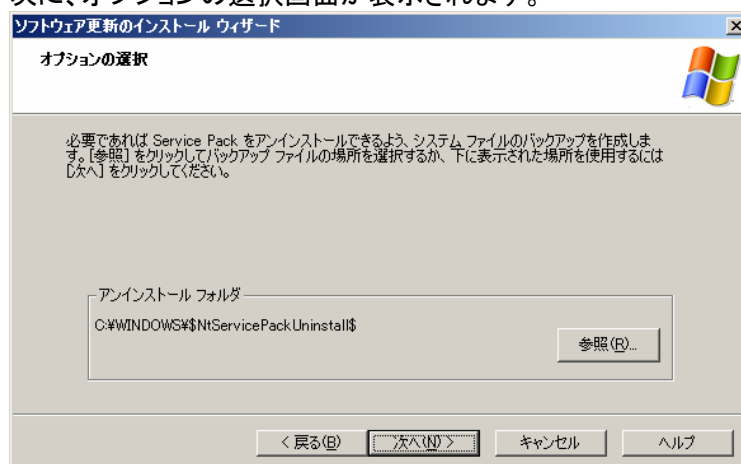
Windows Server 2003 Service Pack 2 セットアップウィザードにしたがってインストールをしてください。



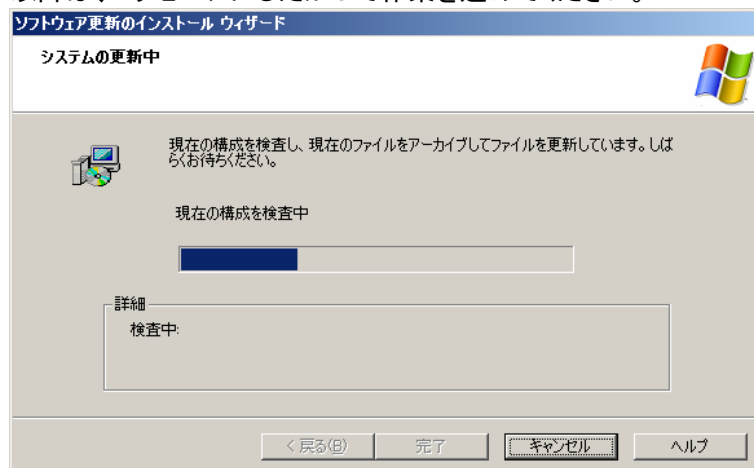
使用許諾契約画面では、内容を確認してください。



次に、オプションの選択画面が表示されます。



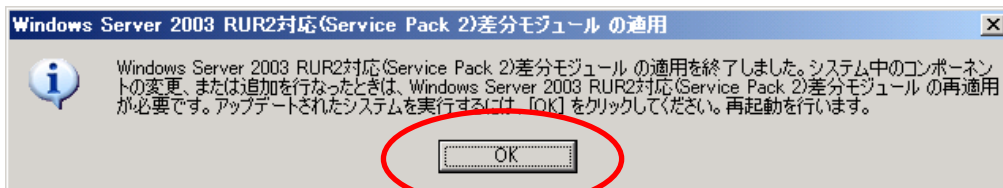
以降は、メッセージにしたがって作業を進めてください。



- (9) 次のメッセージが表示されたら、[完了]をクリックする。
ただし、[完了]をクリックしても、システムは再起動しません。



- (10) Windows Server 2003 R2 内の差分モジュールの適用が始まります。
- (11) 以下のメッセージが表示されたら、差分モジュールの適用は終了です。
[OK]をクリックし、システムの再起動を行います。

**ヒント**

- CD-ROM 版 Service Pack 2 を使用した場合、光ディスクドライブから CD-ROM を取り出してください。
- CD-ROM 版 R2 を使用した場合、光ディスクドライブに CD-ROM が入っている場合は取り出してください。

Windows Server 2003 R2 の適用は、完了です。

重要

- SCSI HostRAID を ご使用の場合は SCSI HostRAID の BIOS にて、システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。
Windows Server 2003 R2 の適用後、「SCSI HostRAID 起動可能なアレイシステムの設定」(P. 7)を参照し、設定をしてください。
本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。
- SATA HostRAID をご使用の場合は、Windows Server 2003 R2 適用後の再起動時、新しいハードウェアの検索ウィザードが表示されることがあります。
検索ウィザードが表示された場合は、「SATA HostRAID を使用している場合について」(P.8)を参照し、ドライバをインストールしてください。

2 サイレントモードでの Windows Server 2003 RUR2 の適用

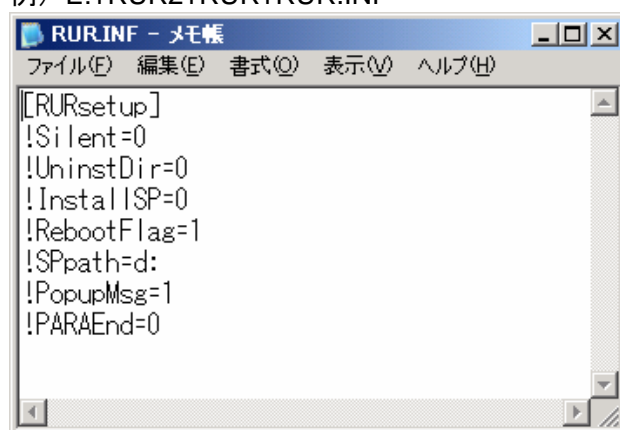
ここでは、サイレントモードで **Windows Server 2003 RUR2** を適用する方法について説明します。

重要

- 必ずシステムにログインしてからサイレントモードでの Windows Server 2003 RUR2 の適用を実施してください。
ログインしていないシステムでは、処理が中断する場合があります。
- Express5800/180Rd-4 を使用している場合、サイレントモードを行うことができません。

- (1) 次のいずれかの方法で、**Windows Server 2003 RUR2** を用意する。
 - **ダウンロード版 RUR2 を使用する場合**
任意のフォルダにダウンロードする。(例)E:¥RUR2)
 - **CD-ROM 版 RUR2 を使用する場合**
光ディスクドライブに **CD-ROM 版 RUR2** をセットする。
- (2) 次のいずれかの方法で、**Windows Server 2003 RUR2** を解凍またはコピーする。
 - **ダウンロード版 RUR2 を使用する場合**
『NEC 8番街』(<http://nec8.com>)からダウンロードしたモジュールを解凍する。
(例)E:RUR2¥RUR)
 - **CD-ROM 版 RUR2 を使用する場合**
CD-ROM 版 RUR2 内のファイルを、任意に作成したローカルのフォルダにコピーします。
ここでは例として「RUR2」というフォルダをEドライブ直下に作成し、そこにCD-ROM版 RUR2 内の次のファイルをすべてコピーします。
<CD-ROM のドライブレター>:¥W2K3¥RUR2
- (3) 「RUR2」フォルダ内の「RUR.INF」をメモ帳などで開きます。

例) E:¥RUR2¥RUR¥RUR.INF



- (4) 「RUR.INF」ファイルを編集し、上書き保存します。

各パラメータの説明

名称	詳細	動作	指定値
!Silent	サイレントモード動作可否	サイレントモード実行する	1
		サイレントモード実行しない	0

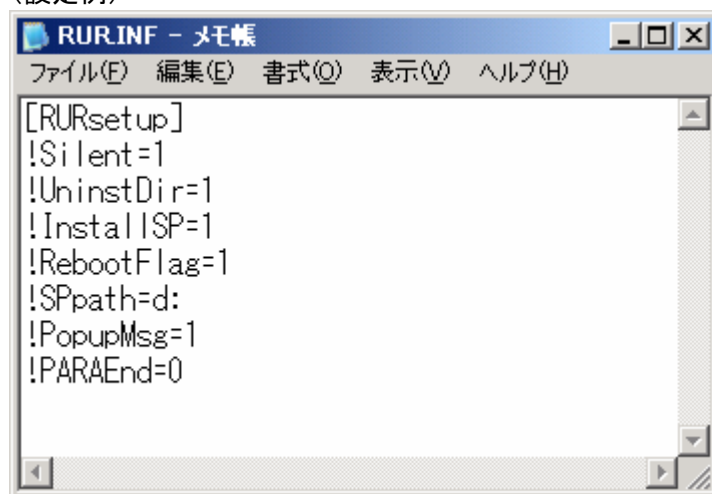
!UninstDir	Windows Server 2003 Service Pack 2 の アンインストールディレクトリ作成可否	作成する	1
		作成しない	0
!InstallSP	Windows Server 2003 Service Pack 2 の適用可否	適用する	1
		適用しない	0
!RebootFlag	Windows Server 2003 R2R2 終了 時の再起動可否	再起動する	1
		再起動しない	0
!SPpath	Windows Server 2003 Service Pack 2 の格納場所	指定したディレクトリ配下にある Windows Server 2003 Service Pack 2 を適用する	ディレクトリ名
!PopupMsg	サイレントモード動作時のメッセージ 表示	表示する	1
		表示しない	0
!PARAEnd	パラメータの終端	パラメータの終端	0(で固定)

例) 以下の設定内容で **Windows Server 2003 R2R2** を適用する場合は、次のように設定します。

設定内容:

- ・サイレントモードで実行する
- ・Windows Server 2003 Service Pack 2 を適用する
- ・アンインストールディレクトリを作成する
- ・CD-ROM (Dドライブ)の Windows Server 2003 Service Pack 2 を使用する
- ・**Windows Server 2003 R2R2** の終了時に再起動する

(設定例)



(5) E:¥RUR2¥RUR¥UPDATE.VBS を実行します。

以降は自動で Windows Server 2003 Service Pack 2 と「**Windows Server 2003 R2R2**」の適用が行われます。なお、設定内容は必要に応じて修正してください。

重要

- SCSI HostRAID を ご使用の場合は SCSI HostRAID の BIOS にて、 システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。Windows Server 2003 R2R2 の適用後、「**SCSI HostRAID 起動可能なアレイシステムの設定**」(P.7)を参照し、設定をしてください。本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。
- SATA HostRAID をご使用の場合は、Windows Server 2003 R2R2 適用後の再起動時、新しいハードウェアの検索ウィザードが表示されることがあります。検索ウィザードが表示された場合は、「**SATA HostRAID を使用している場合について**」(P.8)を参照し、ドライバをインストールしてください。

3 DPM、PTM を使用した Windows Server 2003 Service Pack 2、Windows Server 2003 RUR2 の適用

ここでは DPM、PTM を使用した Windows Server 2003 Service Pack 2、Windows Server 2003 RUR2 の適用方法について説明します。

重要

- OS クリアインストールと Windows Server 2003 RUR2 を一度に適用することはできません。
- リモートアップデートで Windows Server 2003 RUR2 の単独適用を行う場合は DPM2.0 以降をお使いください。

1. Windows Server 2003 Service Pack 2 の登録

2. Windows Server 2003 RUR2 のサイレントモード化

3. Windows Server 2003 Service Pack 2、
Windows Server 2003 RUR2 の適用

1. Windows Server 2003 Service Pack 2 の登録

Windows Server 2003 Service Pack 2 を登録する手順を説明します。

ヒント DPM4.1 を例にした手順を記載しています。
PTM をご使用の場合は、製品名を読み替えてください。
また、ご使用のバージョンによっては、若干画面が異なる場合がありますので、以降の設定項目を参照して登録してください。

- (1) 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「DeploymentManager」→「イメージビルダー」を選択し、起動したイメージビルダーから「パッケージの登録/修正」をクリックする。



- (2) 「パッケージの登録/修正」画面の「ファイル」メニューから「Windows パッケージの作成」を選択します。

- (3) 「基本」、「実行設定」、「対応 OS と言語」の各タブの項目を設定します。
下記以外の項目の設定は、不要です。

・[基本]タブ

The screenshot shows the 'Windows Package Creation' dialog box with the 'Basic' tab selected. The fields are as follows:

- * パッケージ ID: Local-W2K3_SP2
- 会社名: (empty)
- リリース日付: (YYYY/MM/DD) (empty)
- パッケージ概要: (empty text area)
- タイプ: サービスパック (dropdown)
- 緊急度: 一般 (dropdown)
- MS 番号: KB914961
- * メジャーバージョン: 2
- * マイナーバージョン: 0

説明:
MS Q 番号もしくはKB番号とバージョンを入力してください。
例: Windows 2000サービスパック4の場合、
MS Q 番号: Q327194
メジャーバージョン: 4
マイナーバージョン: 0

・パッケージ ID

パッケージにつけるID 番号です。半角英数と「-」、「_」の63バイト以内で入力します。
入力は必須です。

・会社名

パッケージを発行する発行元の名称です。127バイト以内で入力します。

・リリース日付

パッケージをリリースした日付を入力します。西暦/月/日の書式で入力します。

ヒント

- ・リリース日付に無効な値を入力すると、無視されるまたは自動的に補正されます。
- ・リリース日付の年は4桁、月と日は2桁で入力してください。

・パッケージ概要

パッケージの概要情報を入力します。511バイト以内で入力します。

・タイプ

「サービスパック」を指定してください。

・緊急度

「一般」を指定してください。

・MS 番号

「KB914961」を指定してください。

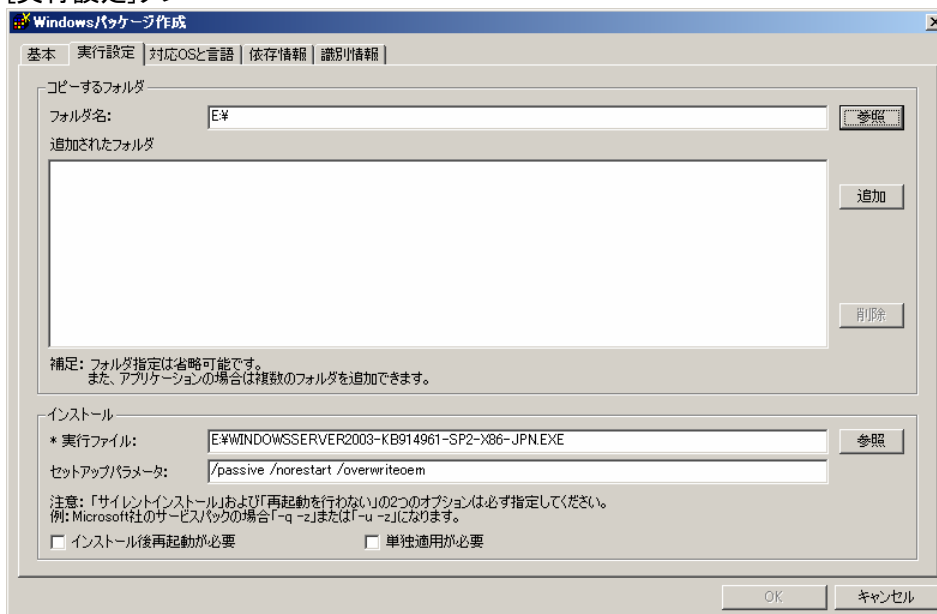
・メジャーバージョン

「2」を指定してください。入力は必須です。

・マイナーバージョン

「0」を指定してください。入力は必須です。

・[実行設定]タブ



・フォルダ名

コピーするフォルダを指定してください。

「参照」ボタンをクリックして、フォルダ指定することが可能です。

注意

・「フォルダ名」に UNC (Universal Naming Convention) 形式 (¥¥「マシン名」¥¥「共有フォルダ」¥¥「サブディレクトリ」) の指定はできません。あらかじめ「ネットワークドライブの割り当て」を行い、ドライブレターを割り当ててください。

・パッチの登録は、フォルダ単位で行われます。1つのフォルダ内には1つのパッチアプリケーションのみを格納するようにしてください。

・追加されたフォルダ

「フォルダ名」で指定したフォルダを「追加」ボタンをクリックして追加します。

・実行ファイル

「コピー元フォルダ:¥¥WINDOWSSERVER2003-KB914961-SP2-X86-JPN.EXE」を指定してください。

「参照」ボタンをクリックして、ファイル指定することが可能です。

入力必須です。

重要

実行ファイル名に%xx(xxは16進数の0~f)を含むファイル(例:file%9d.exe)は登録しないでください。%xxを含むパッケージは管理サーバに正しくダウンロードできません。

ヒント

Microsoft から提供されるセキュリティパッチの仕様によっては、実行パスに2バイト文字が含まれると処理が正常に行われず可能性があります。実行ファイル名は、1バイト文字で作成されることを推奨します。

・セットアップパラメータ

「/passive /norestart /overwriteoem」を指定してください。

セットアップパラメータのそれぞれの意味は以下になります。

「/passive」:

無人モードで更新します。シナリオ実行中にエラーとなった場合はその箇所でシナリオ実行が止まってしまいます。OS インストール中だとタイムアウトするまで Web コンソール上ではシナリオ実行中となります。リモートアップデート中だと Web コンソール上ではシナリオ実行中のままです。

「/norestart」:

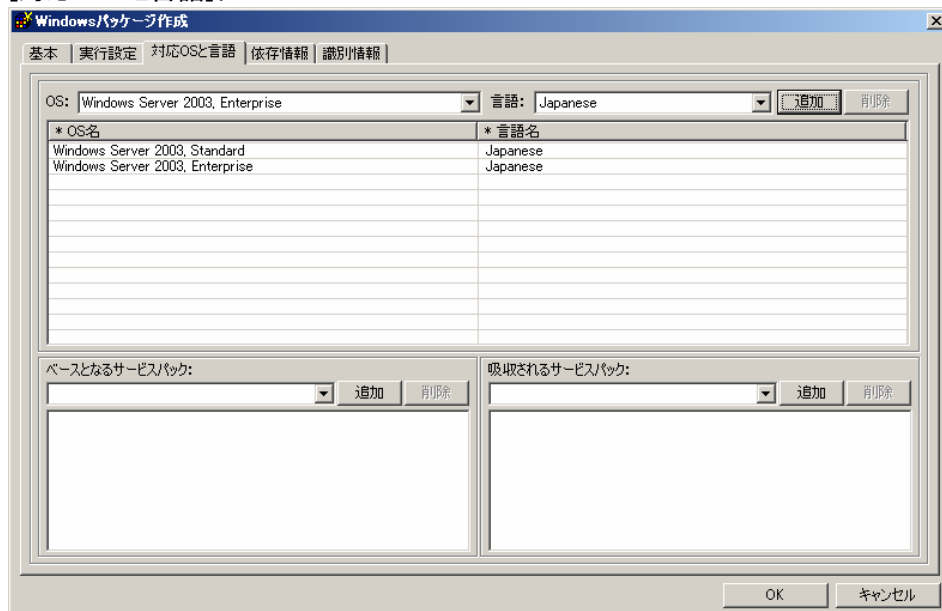
実行後に再起動を行わないようにするため「/norestart」を指定してください。

「/overwriteoem」:

OEM 固有のドライバがインストールされている場合に指定してください。コマンドプロンプトを表示せずに処理を実行します。

ヒント これらのオプションは、サービスパック/HotFix を「/Help」または「-?」のオプションをつけて実行するか、配布元のホームページ等で調べることができます。

・[対応 OS と言語]タブ



・「OS」と「言語」

パッケージを適用する OS と言語を選択します。以下 2 つを指定してください。

OS	言語
Windows Server 2003, Standard	Japanese
Windows Server 2003, Enterprise	Japanese

・OS と言語の「追加」ボタン

選択した「OS」、「言語」を追加します。

- (4) 「OK」ボタンをクリックしてパッケージを作成します。

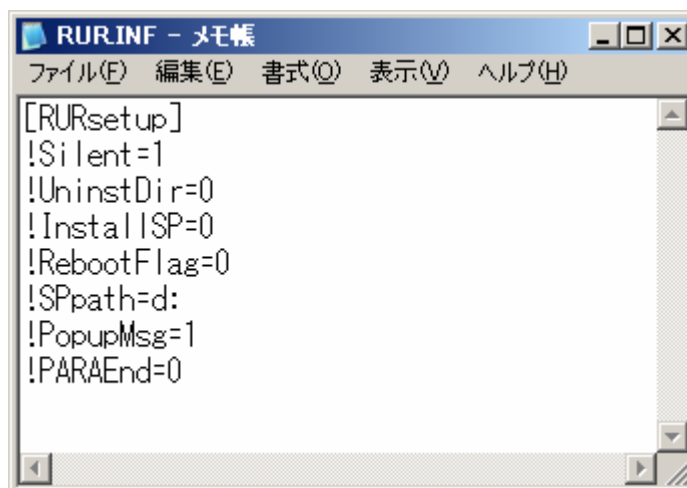
以上で Windows Server 2003 Service Pack 2 登録は完了です。

2. Windows Server 2003 RUR2 のサイレントモード化

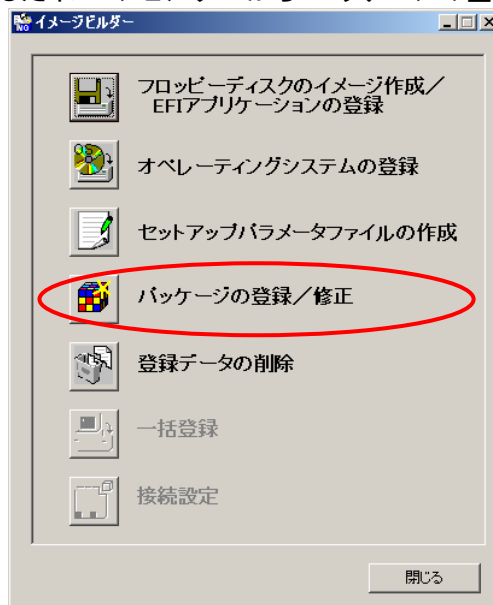
DPM 及び、PTM で配信可能なサイレントモード形式で配信するにする手順を説明します。

ヒント DPM4.1 を例にした手順を記載しています。
PTM をご使用の場合は、製品名を読み替えてください。
また、ご使用のバージョンによっては、若干画面が異なる場合がありますので、以下設定項目を参照して登録してください。

- (1) 「Windows Server 2003 RUR2」内のファイルを、任意に作成したローカルのフォルダにコピーします。
ここでは、E ドライブ直下の「RUR2」フォルダにファイルをコピーした場合を例として記載します。
- (2) 「RUR2」フォルダ内の「RUR.INF」をメモ帳等で下図と同じ設定となるように編集し、上書き保存します。
各パラメータの詳細については、本書の[2. サイレントモードでの Windows Server 2003 RUR2 の適用](P.15)の手順(4)「各パラメータの説明」の表を参照してください。



- (3) 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「DeploymentManager」→「イメージビルダー」を選択し、起動したイメージビルダーから「パッケージの登録/修正」をクリックする。



- (4) 「パッケージの登録/修正」画面の「ファイル」メニューから「Windows パッケージの作成」を選択します。
- (5) 「基本」、「実行設定」、「対応 OS と言語」の各タブの項目を設定します。
下記以外の項目の設定は、不要です。

・[基本]タブ

Windowsパッケージ作成

基本 | 実行設定 | 対応OSと言語 | 依存情報 | 識別情報

* パッケージ ID: Local-W2K3_RUR2

会社名: _____ リリース日付: (YYYY/MM/DD) _____

パッケージ概要: _____

タイプ: サービスパック 緊急度: 一般

MS 番号: _____

* メジャーバージョン: 2

* マイナーバージョン: 0

説明:
MS Q番号もしくはKB番号とバージョンを入力してください。
例: Windows 2000サービスパック4の場合、
MS Q番号: Q327194
メジャーバージョン: 4
マイナーバージョン: 0

OK キャンセル

・パッケージ ID

パッケージにつける ID 番号です。半角英数と「-」、「_」の 63 バイト以内で入力します。
入力は必須です。

・会社名

パッケージを発行する発行元の名称です。127 バイト以内で入力します。

・リリース日付

パッケージをリリースした日付を入力します。西暦/月/日の書式で入力します。

ヒント

- ・リリース日付に無効な値を入力すると、無視されるまたは自動的に補正されます。
- ・リリース日付の年は 4 桁、月と日は 2 桁で入力してください。

・パッケージ概要

パッケージの概要情報を入力します。511 バイト以内で入力します。

・タイプ

「サービスパック」を指定してください。

・緊急度

「一般」を指定してください。

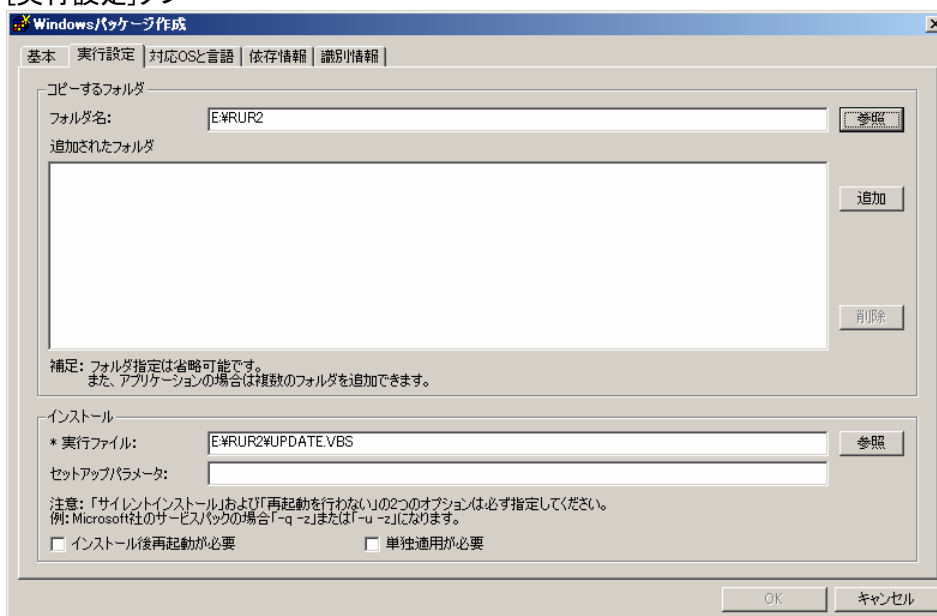
・メジャーバージョン

「2」を指定してください。入力は必須です。

・マイナーバージョン

「0」を指定してください。入力は必須です。

・[実行設定]タブ



・フォルダ名

コピーするフォルダを指定してください。

「参照」ボタンをクリックして、フォルダ指定することが可能です。

注意

・「フォルダ名」に UNC (Universal Naming Convention) 形式 (¥¥「マシン名」¥¥「共有フォルダ」¥¥「サブディレクトリ」) の指定はできません。あらかじめ「ネットワークドライブの割り当て」を行い、ドライブレターを割り当ててください。

・パッチの登録は、フォルダ単位で行われます。1 つのフォルダ内には 1 つのパッチのみを格納するようにしてください。

・追加されたフォルダ

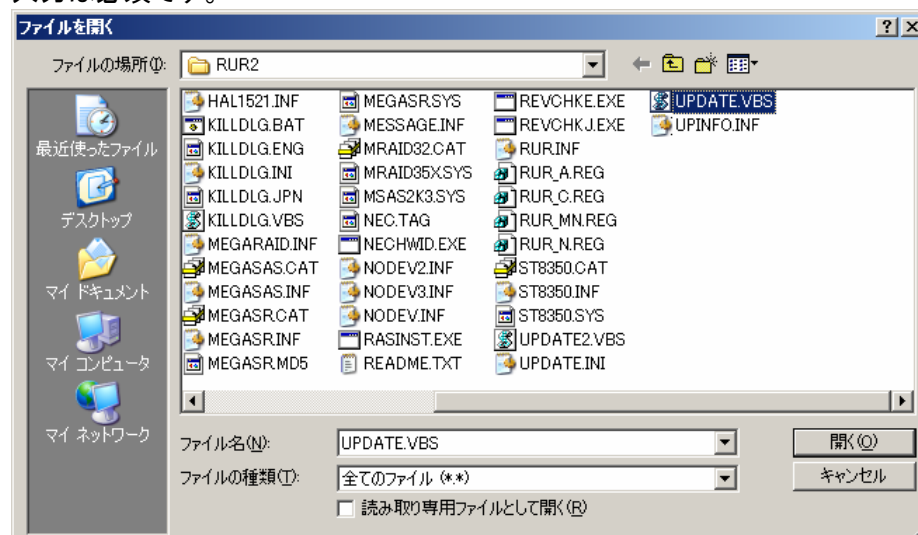
「フォルダ名」で指定したフォルダを「追加」ボタンをクリックして追加します。

・実行ファイル

「E:\RUR2\UPDATE.VBS」を指定してください。

「参照」ボタンをクリックして、ファイル指定する場合、[ファイルの種類]を[全てのファイル]に変更し、「UPDATE.VBS」を指定します。

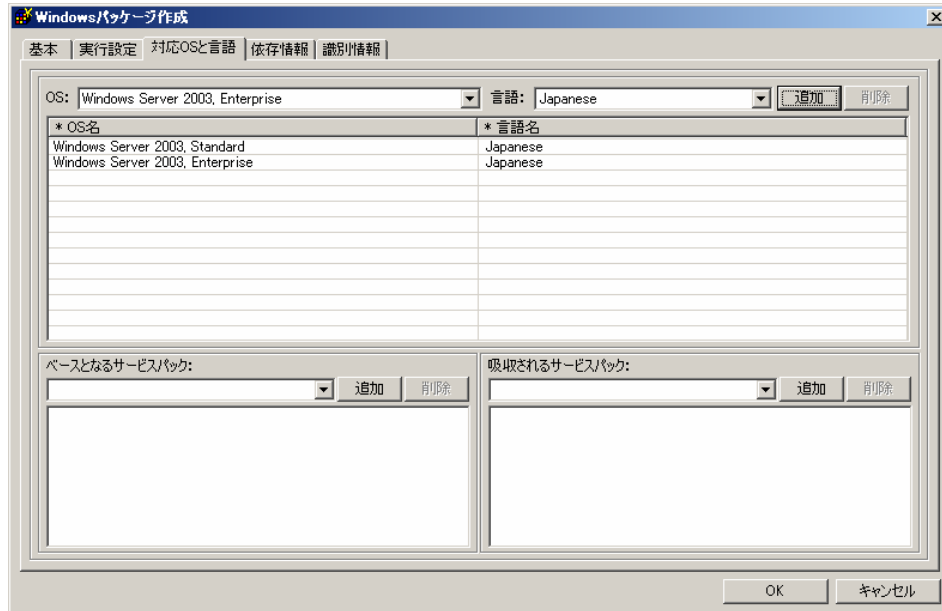
入力必須です。



重要 実行ファイル名に%xx(xx は 16 進数の 0～f)を含むファイル(例:file%9d.exe)は登録しないでください。%xx を含むパッケージは管理サーバに正しくダウンロードできません。

ヒント Microsoft から提供されるセキュリティパッチの仕様によっては、実行パスに 2 バイト文字が含まれると処理が正常に行われられない可能性があります。実行ファイル名は、1 バイト文字で作成されることを推奨します。

・[対応 OS と言語]タブ



・「OS」と「言語」

パッケージを適用する OS と言語を選択します。以下 2 つを指定してください。


OS	言語
Windows Server 2003, Standard	Japanese
Windows Server 2003, Enterprise	Japanese

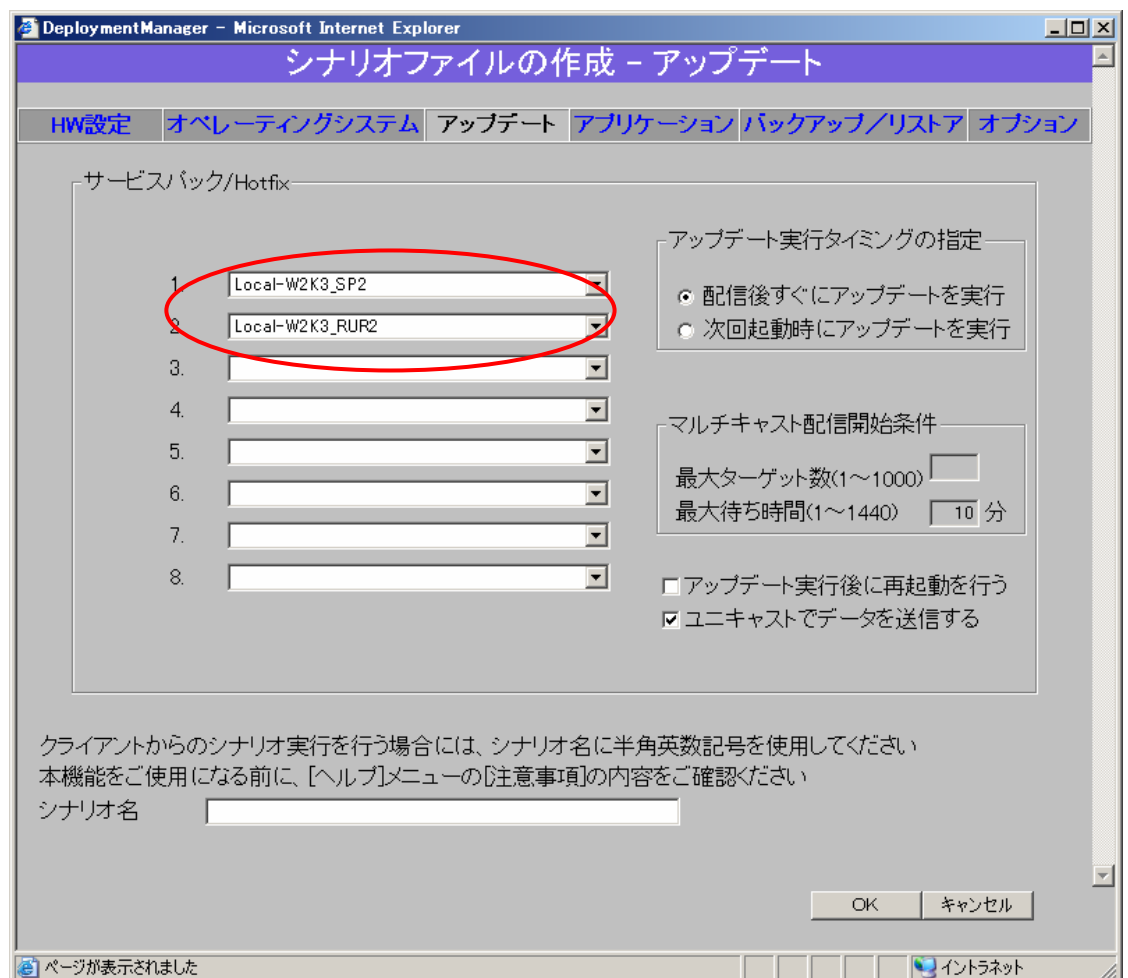
・OS と言語の「追加」ボタン

選択した「OS」、「言語」を追加します

以上で Windows Server 2003 RUR2 のサイレントモード化は完了です。

3. Windows Server 2003 Service Pack 2、Windows Server 2003 RUR2 を適用する

- (1) DPM または PTM を起動します。
- (2) メインウインドウ画面の「シナリオ」メニューから「シナリオファイルの作成」を選択し、シナリオファイル作成画面を表示します。
メインウインドウ画面の  アイコンをクリックしても、同様の操作が可能です。
- (3) 「アップデート」タブをクリックし、プルダウンメニューから 2 と 3 で登録した **Windows Server 2003 Service Pack 2** と **Windows Server 2003 RUR2** を選択し、シナリオを作成します。

**注意**

- ・イメージファイルが一度に適用されるよう、シナリオを作成してください。
- ・サービスパックの適用後に **Windows Server 2003 RUR2** が実行されるようにしてください。(1~8までのうち、1から順番に実行されます)

ヒント

「Windows Server 2003 Service Pack 2」、及び「Windows Server 2003 RUR2」は、コンピュータの再起動後に有効になります。シナリオ実行直後にコンピュータを再起動する場合は、「アップデート実行後に再起動を行う」にチェックを入れてください。

- (4) (3)で作成したシナリオを対象の装置に割り当て、シナリオを実行します。

以上で Windows Server 2003 Service Pack 2、Windows Server 2003 RUR2 の適用は完了です。

重要

- SCSI HostRAID を ご使用の場合は SCSI HostRAID の BIOS にて、システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。Windows Server 2003 RUR2 の適用後、「**SCSI HostRAID 起動可能なアレイシステムの設定**」(P.7)を参照し、設定をしてください。本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。
- SATA HostRAID をご使用の場合は、Windows Server 2003 RUR2 適用後の再起動時、新しいハードウェアの検索ウィザードが表示されることがあります。検索ウィザードが表示された場合は、「**SATA HostRAID を使用している場合について**」(P.8)を参照し、ドライバをインストールしてください。

トラブルシューティング

Express5800 シリーズが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容にしたがって Express5800 シリーズをチェックしてください。
リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理にしたがってください。
それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。



Windows Server 2003 R2 を適用せずに、Windows Server 2003 Service Pack 2 を適用してしまった。

- 差分モジュールのみ適用してください。
詳細な手順は、本手順書の「1.Windows Server 2003 R2 の適用」
手順(5) <Windows Server 2003 R2 のみを適用する場合>を参照してください。



Web サイトなどからダウンロードした Windows Server 2003 Service Pack 2 が使用できない。

- ダウンロードしたファイル(**.exe)を解凍していませんか？
ダウンロードしたファイル(**.exe)は解凍する必要はありません。
解凍しないでそのままご使用ください。

Windows Server 2003 R2 で適用されるモジュールについて

Windows Server 2003 R2 で適用されるモジュールは、次の通りです。

- | | | |
|---------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① Mraid35x.sys (6.32.2.32) | : | N8103-80/81,SCSI ROMB 用ドライバ
EXPRESSBUILDER Version4.132x-N および
EXPRESSBUILDER Version4.135x-N 以前の機種
が対象となります。 |
| ② Adpu160m.sys (NT51_6S3(内部名:RTC_u160_NT51_6S3 V218A24B13_RTC05S1)) | : | N8103-56/95,On-Board SCSI(AIC-7899) |
| ③ Adpu320.sys (PH3.0S2(内部名:PH 3.0 MS_V98S2 V564 bw01)) | : | N8103-75,On-Board SCSI |
| ④ Aarich.sys (6.075.1.7dND) | : | SATA HostRAID(Olympia)をサポートする最新ドライバ
対象機種:以下の EXPRESSBUILDER 対象装置
- EXPRESSBUILDER Version3.111x-N
- EXPRESSBUILDER Version3.115x-N
- EXPRESSBUILDER Version3.116x-N
- EXPRESSBUILDER Version3.122x-N
- EXPRESSBUILDER Version3.129x-N
- EXPRESSBUILDER Version3.130x-N
- EXPRESSBUILDER Version3.131x-N |
| Aarich.sys (6.075.1.7dD) | : | SATA HostRAID(Pelicanhil)をサポートする最新ドライバ
対象機種:Aarich.sys (6.075.1.7dND) サポート以外の機種 |
| ⑤ St8350.sys (2.9.70.8) | : | N8103-101 をサポートする最新ドライバ |
| ⑥ Msas2k3.sys (1.20.0.32) | : | N8103-90/91/99 SASROMB をサポートする最新ドライバ |

- ⑦ Megasr.sys (4.20.526.2006) : SAS SWRAID をサポートするドライバ
対象機種: EXPRESSBUILDER Version4.146x-N
- ⑧ A320raid.sys (1.02.069AB3) : SCSI HostRAID をサポートするドライバ
- ⑨ explog.sys (Rev 7.0.21.58) : 対象外機種
Express5800/ 110Gd, 110Gd-S, 110Gc-C, 110Ek,
110Rh-1, 110GR-1d, 110Rb-1h, 120Rg-1,
120Ri-2, 120Eh, 120Li, 110Gb-C, 140Hf,
140Re-4, 120Ra-2h, 110Ra-1h, 110Ga-C,
110Ca, 180Re-3, 110GR-1c, 110Rg-1, 110Ej,
110Gc-S, 110Sc, 120Gb, 120Eg, 110Gc,
110GbS, 110Sb, 110Ei, 110Gb, 110Eh,
180Rd-4
120Bb-d6, 120Bb-m6, 120Bb-6
- ⑩ necras.sys (Ver5.10.8.0) : 対象機種
100 シリーズ
Express5800/ 120GR-1a, 120GR-2a, 120Rd-1, 120Rf-2,
110GR-1a, 110Rd-1, 140Hd, 140Rc-4,
120Mf, 120Lg, 120Rb-1, 120Rd-2, 120Re-2,
120Rc-1, 120Me, 120Lf
400 シリーズ
Express5800/ 420Ma, 420La, 410Ea, 120Ba-4
InternetStreamingServer
Express5800/ InternetStreamingServer
- necras.sys (Ver5.21.08.0) : 対象機種 : Express5800/ 110Gc
- necras.sys (Ver5.21.08.0) : 対象機種 : Express5800/ 110Gc-S, 110Sc
- ⑪ hal.dll (1.41.0.0) : 対象機種 : Express5800/ 180Rc-4, 180Rd-4
ドライババージョンが古い場合のみ自動で置換する
- ⑫ REVCHK.EXE (Ver 1.25) : Windows Service 2003 R2 (Service Pack2)
サポート対象全機種